

## 小規模オフィスのVoIP化を促進する高機能機 既存設備そのままに通信コストを大幅に削減

他社に先駆けてSIPベースのVoIPルーターを市場展開し、20万台以上の出荷実績を持つヤマハがVoIP機能を強化した新製品「RTV700」を市場投入。ISDN対応PBXとの連携を実現し、小規模オフィス向けに攻勢をかける。

### ISDN対応PBXに接続可能

ヤマハは2001年12月に、他社に先駆けて低価格帯ルーターであるネットボランチシリーズにSIPベースのVoIP機能を搭載した。併せて、インターネット環境で無料のVoIPが利用できる「ネットボランチDNSサービス」を提供し、これまで20万台以上の出荷実績を誇っている。

同社はこの実績をもとに、今秋以降に本格化が見込まれる、「050」番号を利用した企業向けIP電話サービス用に機能強化を図ったブロードバンドVoIPゲートウェイ「RTV700」を市場投入し、併せて各事業者のIP電話サービスに順次対応を図っていく予定である。

ヤマハがRTV700でメインターゲットとするのは、小規模拠点でのPBX使用ユーザー。AV・IT事業本部国内営業部ネットワーク推進グループの白鳥進ルータープロダクトマネージャーは、「事務所用のINSネット64サービスの契約は、現在も伸び基調で、このユーザー層におけるISDN回線の利用率はまだ高い。このため、ISDN対応PBXとの直接接続が可能なインターフェースを2ポート装備した」と説明する。これにより、ISDN回線を複数契約してビジネスホンやPBXを利用している小規模オフィス

の既存設備を活かしたVoIP化を可能にした。

RTV700は、IP電話サービスを快適かつ容易に利用できるように、大幅な機能向上を図っている。まず、エコーキャンセラやジッタバッファ自動調節機能に対応し、音声品質の向上を図るとともに、FAX通信品質も向上。FAXデータを自動的に認識し最適化して送受信を行えるようにしている。ISDN回線でのインターネット電話利用を睨み、音声圧縮(G.729a)に対応している点も大きな特徴だ。また、ダイヤルイン機能もサポートし、ビジネスホンやPBXに接続した電話機を外部からダイヤルイン番号でダイレクトに呼び出すことが可能。さらにカスケード接続に対応し、最大同時通話数を拡大できる。

### 高いルーター機能も装備

また、ヤマハがこれまで培ってきた高度なルーター機能を継承するとともに、企業ユースに最適化し、音声とデータの統合ソリューションを1台で実現できるようにしている。

スループットは最大100Mbps (SmartBits測定値)、実効50Mbps (PPPoE + NAT + ファイアウォール測定値) を実現し、FTTH環境でもストレスのない利用を可能にした。また、本格的なVPN (IPsec、PPTP) 機能を搭載するとともに、優先制御



RTV700

機能やSNMP対応、7段階のレベルを設定できる強力なファイアウォール機能、IPv6対応等、企業ユースに欠かせない機能を盛り込んである。さらに同社の企業向けルーターとしては初めてとなるWeb設定機能もサポートし、ルーターの扱いに不慣れな電話設備業者でも簡単に設定が行えるように配慮している。

ヤマハでは、RTV700の販売戦略として、ネットボランチDNSサービスと組み合わせた内線電話コストの削減提案から始める意向で、その後ITSP (Internet Telephony Service Provider) のサービスと市場動向を見ながらIP電話サービスを活用した提案を行っていくという。白鳥マネージャーは、「その際には、できるだけ多くのITSPに対応できるように準備を進めている」と語っている。

お問い合わせ先

ヤマハ株式会社

ヤマハルーターお客様相談センター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

TEL: 053-478-2806

E-mail: info@rtpro.yamaha.co.jp

URL: http://NetVolante.jp